

特242

798

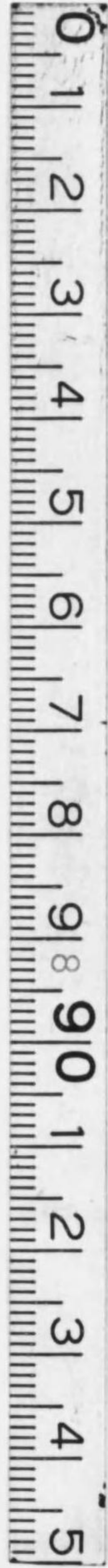
一九三二年ジュネーブ  
国際放送聯盟編

放送の重要性

日本放送協會

特輯パフォンツト第四號

昭和八年二月



始

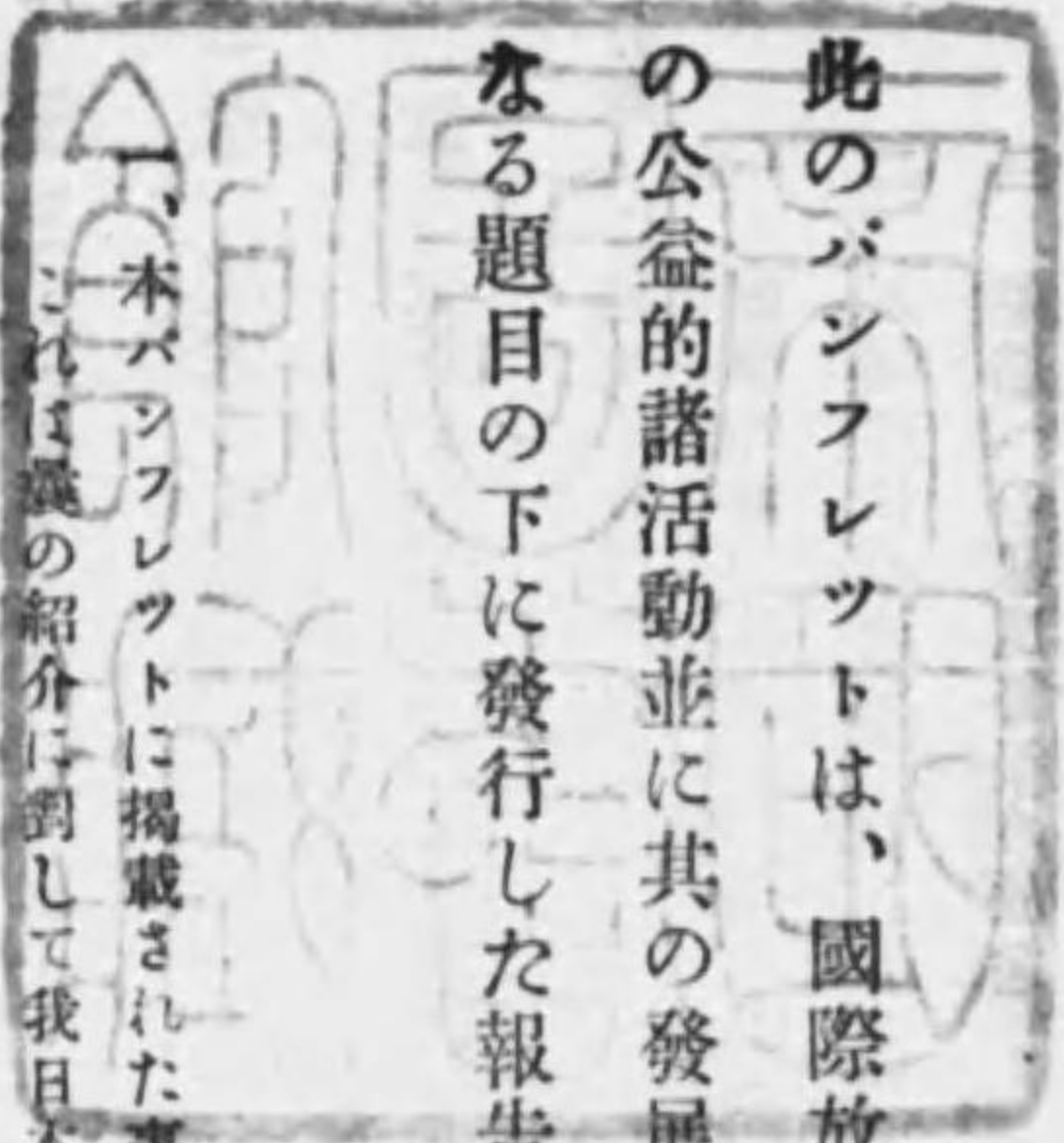


時 242  
798

はし が き

發行所寄贈本

此のパンフレットは、國際放送聯盟が一九三一年三月三〇日附で世界各國に紹介した「放送事業の公益的諸活動並に其の發展現況」に關する回答を取纏め、一九三二年末「放送事業の重要性」なる題目の下に發行した報告の全譯である



- 一、本パンフレットに掲載された事項中、我が國に關する限りに於ては各所に相當誤記と認めらるべきものが多し。これは曩の紹介に對して我日本放送協會が、經營狀況に關しては全般的狀況を、放送事項の一部に就ては當時に於ける一
- 二、局中J O A Kの記録を提供したのを誤解して整理した結果であらう
- 一、その顯著なる一例は職業紹介放送に關して「J O A K一局半計九七時間二〇分」と回答したが本パンフレット第二九頁では「諸放送局年計約一、〇〇〇時間」として居る。即ちA K一局の分を一二倍して全部と看做したものと推察される
- 一、第四六頁の日本に關する記載の如きも、一九三〇年末現在の我が國に於ける總無線關係専門新聞、雜誌の従業員並に發行部數であるが、それが宛も日本放送協會の直接刊行物の如く看做されて取扱はれて居る

放送の重要性 目次

緒言	一	七 夜間の特別成人教育放送	一三
第一章 放送の重要性	二	八 ラヂオ体操	一四
第二章 公益事業	七	九 農業講座の放送	一四
分類Aに属する各種の行爲		一〇 青少年の爲にする職業教育に關する放送	一五
一 標準時刻の放送	八	一一 産業發展の爲にする權威者の經濟學	
二 天氣豫報の放送	九	並に産業に關する講演の放送	一六
三 船舶への暴風警報の放送	九	一二 社會問題に關する諸研究の放送	一七
四 自動車操縦者への道路狀況の放送	一〇	一三 海外事業の紹介放送	一八
五 行衛不明者又は病人の縁者捜査に關する放送	一〇	一四 公認慈善施設又は罹災地方民の爲にする	
六 小學兒童への特殊教育プログラムの放送	一一	寄附金募集の放送	二〇
		一五 病院への受信機無料設備	二〇
		一六 盲人及び不具者に對する受信機負擔の免除	二一

二  
本

分類Bに属する事項		八 樹木損傷及び屑物撒布に依る田園美破壞防止に	
一 犯人逮捕及び法律、命令の執行に關して	一一	關して斯界權威者の公衆に訴へる告示	二七
警察に協力せる報道	一一	九 官廳發表の販賣者及び購買者雙方の	
二 農務省發表の天候不良及び各種の疾病に	一二	便誼の爲にする魚類及び農産物の現在市價	二八
對する家畜並に農作物の保護に關する告示	一二	に關する告示	二八
三 政府諸官廳に於て取纏むる統計事務上の	二三	第三章 放送に投下された資本	三一
援助を求むる告示	二三	第四章 放送事業従事者	三四
四 保健省發表の國民保健の増進又は流行	二四	藝術家及び音楽家への支拂額	三五
病豫防に關する告示	二四	作家及び作曲家への著作権使用料	三六
五 關係官廳發表の暴風雨、洪水、山火事等	二五	第五章 放送事業の財政	三七
焦眉の危険警戒に關する告示	二五	放送の國家に對する價値	四〇
六 重大なる危機に際し關係官廳發表の國民の大多	二六	第六章 放送の工業に及ぼせる影響	四二
數に直接且即刻に呼び掛ける爲の告示	二六	七 觀光獎勵關係官廳又は半官的團體發表の	
七 觀光獎勵關係官廳又は半官的團體發表の	二六	旅行趣味普及に關する告示	二六
		結論	四七

### 譯註 我國の放送事業に関する記載

大陸別として整理されてゐるので我國に関する事項は各項とも亞細亞欄中一括され、別に「日本」として明示されてゐる場合は餘りないが、左の諸點に就ては特に「日本」として紹介されてゐる。我が放送事業の特異性が斯の如き様相を以て世界に傳へられた事は注目すべきであらう

- ◆ 職業紹介放送……………二九頁
- ◆ 機器の診療……………三〇頁
- ◆ 聴取者及放送事業従事者……………三五頁
- ◆ 放送事業の財政……………三七頁
- ◆ 聴取料収入……………三九頁
- ◆ ラヂオ關係新聞雜誌……………四六頁
- ◆ 聴取者激増狀況……………卷末略圖

### 國際放送聯盟編

## 放送の重要性

### 日本放送協會譯

本パンフレットは——世界各国より蒐集せる權威ある數字に依據し——次の諸事項を闡明せんとするものである

#### 放送は

- ◆ 現代生活に於ける不可欠の要件となつたこと
- ◆ 世界の三四、五〇〇、〇〇〇世帯に、報道、教養及び慰安を供してゐること——推定聴取者數一三八、〇〇〇、〇〇〇を示す (六頁参照)

- ◆ 公益事業に關し諸種の重要な業績を挙げつゝあること (七一三〇頁参照)
- ◆ 諸國の國庫歳入に新たなる一財源を供してゐること (四〇—四一頁参照)
- ◆ 數千の藝術家並に音樂家に職を與へてゐること (三五頁参照)
- ◆ 數千の作家並に作曲家に對して新たな収入の源泉となつてゐること (三六一—三七頁参照)
- ◆ 工業全般に刺戟を與へてゐること (四三—四七頁参照)
- ◆ 重要な新電氣工業の樞軸となつてゐること (四二—四三頁参照)

故に、放送は、他の無線電氣事業に比して日尙淺いけれども、此の新社會的勢力の進歩に、直接或は間接に影響を及ぼす計畫に參與する地位にある總ての人々に依つては、特殊の考慮が拂はれて然るべきである

在瑞西國ジュネーブ國際放送事務局（國際放送聯盟の業務執行機關）は、此の放送の發達と重要性とに關する概觀を試みるに當り、計算の基礎を爲す權威ある報告を、次の三一九ヶ所に仰いだ

- 郵便、電信主管廳 二一ヶ所
- 亞米利加合衆國聯邦ラヂオ委員會 一ヶ所
- 商務省統計課 二五ヶ所
- 國立教育放送諮問會（紐育） 一ヶ所

## 第一章 放送の重要性

領事館附商務官 一二ヶ所  
諸大陸の放送團體 二六九ヶ所  
註 概して、一九三〇年迄の最近の資料を蒐集してあるが、一九三一年度の數字を掲げた分もある

國際放送聯盟は、營利を目的とせず、放送の發展の結果惹起せる又は惹起さるべき一切の一般的興味ある諸問題を研究する目的を以て結成された聯盟であつて、歐洲各國の通信省より、國際的性質を帯びる放送の技術上の諸問題に關する専門諮問團體として承認されてゐる。本聯盟の正會員は、歐洲に於ける殆んど大部分の放送團體を網羅し、其準會員としては、他の諸國の主要放送當事者の參加を得てゐる

「無線物語」なる題下に多數書籍の出版せられてゐるのは尤もな事である  
科學を應用して文明の進歩を計つたものの中で、斯くも一般民衆の想像力に訴へ又は速度と距離とに關する人類の見解を斯くも完全に變革したものは恐らく其の例を見ないであらう  
元老院議員マルコニが、一八九五年ボログナの彼の庭園で始めて短距離實驗を行つて以來、世界は次々に、新しい、驚異すべき發展に驚かされた

事件の發展經過を顧みれば

- 一八九八 英國沿岸沖の燈明船より本土セント州への遭難信號の送信成功
- 一九〇〇 南亞戰爭に参加した二縱隊間に無線通信を實驗的に使用する
- 一九〇一 ニューファウンドランドに於て疾風中紙鳶を飛翔せしめ、大西洋を横断せる微弱なる無線信號を受信す
- 一九〇八 大西洋横斷商業用無線電氣業務の開始

- 一九一二 沈み行く「タイタニック」號の無線信號を受信し、七〇〇名を救助す
- 一九一三 大洋航行乗客船全部に無線通信装置を設備せんとする大運動開始さる
- 一九一五 エツフェル塔無線局が始めて亞米利加合衆國アーリントンよりの大西洋横斷無線電話通信を受信す
- 一九一四 無線方向探知局の出現と多數の戰用器（陸海空軍）乃至一九一六に其の根據地との無線通信装置を設備す
- 一九一九 公衆の報道、教養及慰安の爲にする講演及音樂の放送に、始めて無線電話を常用するに至る
- 一九二五 電視の發明其の他顯著なる新機軸收舉に遑あらず以後

最近の發展狀況は、今日に於ては世界の殆んど總ての主要都市間に無線電信、電話に依る通信を可能ならしめてゐる程である  
技術の進歩に關する前述の記録は驚異すべきものであるが、同時に、最も強く民衆の想像力に訴へ従つて無線工業に最大の刺戟を與へた所の無線科學の應用は、所謂「放送」である事は論を俟たない

放送は現代生活に於ける不可欠の要件となつた

同趣意の見解が多数名士に依つて吐露されてゐる。その若干を此處に引用すれば、最初に斯る言明を爲した人の中には、フーヴァー大統領がある。當時は彼が未だ米國商務卿であつた一九二五年の事である。「四年前、一科學玩具に過ぎなかつたものが、今日に於ては、亞米利加國民生活に於ける不可欠の要件と看做されるに至つた」

一九二六年、國際聯盟事務總長サー、エリック、ドラモンド氏は放送の發展に關して「若し世界各地の人々が、他の國々の政治家の、音に思想のみならず其の肉聲までも熟知するに至らば、國際關係に齎らざるべき變化は、蓋し測り知る可からざるものがあるであらう」と述べてゐる

二年後、英國首相はギルドホールの饗宴—各國外交官の列席する歴史的に有名な例年の會合—に於て演説して曰く

「無線（放送）、即ち公營或は私設無線は、今や世界の一般國民間を結ぶ偉大なる絆の一となりつつあると信ずる。而して、將來戰爭の開否を決定するのは結局のところ此の一般國民に他ならないのである」

今から三年前（一九二九年）ウキルヘルム、ミクラス氏（奧太利共和國大統領）は、奧太利放送事業五周年祝典に際して書を寄せて曰く

「當代の特權として享受する諸種の偉大なる發明中、放送には全然特殊な地位が與へらるべきである。放送は其の精神的に人々を接近せしめ得る力に依り、他の技術的科學の所産を以てしては、精々補助的效果を得るに過ぎないものを直截に獲得する。放送は、夫れ以前は農村人と都市生活者とを隔離し又屢々貧富兩階級並に國民相互間を隔離してゐた文化及び社會上の懸隔

に橋渡しするものである。總ての人々に均等に通信し、自らを人類の偉大なる道德的力の宣示者とする事に依り、放送は、一國に限局せず次第に全世界を擁抱するに至る精神的王國內に一社會を創成するものである」

極く最近（一九三二年七月）佛蘭西通信大臣ケイユ氏が、ポルドーに於て放送の果してゐる重大なる役割に就て演説して

放送は「歴史が我等の時代を飾る驚異的進歩の「一である」と述べた

斯くの如く諸國の君主、政治家、精神生活の指導者

第一表 正規放送局増加數（×概算）

年次	阿弗利加	北及中央亞米利加	南亞米利加	亞細亞	大洋洲	歐羅巴	計
一九二〇	1	2	1	1	1	1	2
×一九二六	5	750	400	100	200	170	995
一九三〇	10	695	85	26	51	238	1,105

（羅馬法王を含む）及び他の知名の活動家及び學者が、既に放送諸團體の懇請を容れて、放送手段を藉つて、彼等の經驗並に學識の成果を大衆に享受せしめて來てゐる事と斯る諸氏の見解とは全く一致してゐる

十二年前には、正にフーヴァー大統領が述べた通り、ラヂオは「一科學玩具」に過ぎなかつた。放送は僅か數千の人々、而も主として年少の人々で當時の簡單な受信機を購ふに足る小遣錢と好奇心とを持つてゐた者に娛樂を供したのであつた。正規なプログラムを送つた最初の放送局は、一九一九年一月加奈陀モントルオルに開設されたものである

其の後の狀況は以下の諸表に最も明らかである

第二表 放送局使用電力の増加 (キロワット)

年次	阿弗利加	北及中央 亞米利加	南亞米利加	亞細亞	大洋洲	歐羅巴	計
一九二〇	—	〇・六	—	—	—	—	〇・六
一九二六	四・〇	六一七・〇	二五・六	四・六	四五・三	二六八・五	一、〇〇五・〇
一九三〇	二〇・五	一、三六〇・三	九五・四	八二・九	五四・〇	一、八一三・九	三、四二七・〇

第三表 放送聴取用受信機施設世帯数の増加

年次	阿弗利加	北及中央 亞米利加	南亞米利加	亞細亞	大洋洲	歐羅巴	計
一九二〇	—	數千	—	—	—	—	—
一九二六	一五、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	數千	五五、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	五、八〇〇、〇〇〇	約二、五〇〇、〇〇〇
一九三一	五〇、〇〇〇	一六、五〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四一〇、〇〇〇	一六、〇〇〇、〇〇〇	約三、四、五〇〇、〇〇〇

一家族の平均人員は七歳以上の者約三・八名であるから、各世帯には(訪客共)四名の推定聴取者があるものと看做す事が出来る。一九三一年一月三十一日現在

の三四、五〇〇、〇〇〇の受信機施設世帯数は當時に於ける一三八、〇〇〇、〇〇〇の推定聴取者を示せるものである

## 第二章 公益事業

一般民衆は放送を主として娯樂を供するものと観てゐる事は慥であるが、若し娯樂が其の唯一の効用であつたとしても、放送は尙國民社會生活上に重要な地位を占め得たであらう。大都市の住宅と同じく僻村の陋屋へも、均等に且又同時に、到達し得る無線電波の力は、離背し行く人心を田園生活に魅きつける上に於て、特殊な價値をラヂオに賦與するものである。然し乍ら、放送は、娯樂の一新形式に止まるものではない。これは、又、博識なる民衆を創り出すところの新しい効果ある手段でもある。幾百萬の聴取者に、其の日のニュース及び時事問題並に話題に關する専門

家の意見を傳へるのみならず、諸官廳の特に緊急且重要な職務を援助し得る公益事業—これは著作権に關するベルヌ條約の改正條文に於て公式に承認せられてある—である

此處に掲載するため特に全世界より蒐集した次の報告により、放送プログラムの「公益」的性質に就ては或る程度の見透しが得られるであらう。數字は一九三〇年の状態を示すが當時に於ける一一〇五ヶ所の放送局全部から回答を得る事の困難の爲不完全な點があるのは免れない所である

「公益事業」を次の如き二大別に分類して各種の資料を整理した  
 分類(A) 放送團體が、自費で而も全然自己の創意に基いて行つた公益的性質を有する諸行為  
 分類(B) 政府諸官廳の活動に協力して行ひつゝある公益事業  
 これ等の諸事業の個々に就て見れば

分類Aに屬する各種の行為

一、標準時刻の放送

大陸別摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴	一三五	八七	七、六九二・三一	八八・二五
亞弗利加	三	三	四・三〇	一・三〇
北及中央亞米利加	一九九	七八	二、九八四・二五	三八・一六
南亞米利加	一	一	一	一
亞細亞	一五	一二	一五〇・四八	一二・三四
大洋洲	一八	六	六五・三〇	一〇・五五
計	三七一	一八六	一〇、八九七・四四	六八・三五

二、天氣豫報の放送

大陸別摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴	一三六	一二六	一〇、五六一・一五	八四・一五
亞弗利加	四	四	八四・〇〇	二一・〇〇
×北及中央亞米利加	一九二	八七	二、四三七・四七	二八・二〇
南亞米利加	一	一	三六五・〇〇	三六五・〇〇
亞細亞	一五	一二	一、五二九・三〇	一二七・二八
大洋洲	二二	一〇	二一〇・〇〇	二一・〇〇
計	三七〇	二四〇	一五、一八七・三二	六三・一七

× 亞米利加合衆國には、氣象通報を放送局の負擔にて行はず「提供」プログラムの一部とする所一、二あり

三、船舶への暴風警報の放送

此の放送は性質上海岸線を持つ諸國に限られ、暴風警報に充當される時間は、勿論天候に左右される



四、自動車操縦者への道路状況の放送

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一一五	六	一一六・〇〇	二一・〇〇
亞弗利加		三	三	三九・〇〇	一三・〇〇
北及中央亞米利加		一四〇	六〇	一、二二七・二七	二〇・二七
南亞米利加		一			
亞細亞		四			
大洋洲		四六	一四	一九八・〇〇	一五・二〇
計		三〇九	八三	一、五九〇・二七	一九・二〇

五、行衛不明者又は病人の縁者捜査に関する放送

これ等の放送は、これが放送團體の正規の活動の一部と看做されてゐる諸國に於て格段の成功を収めてゐる。これを行ふには、警察當局、醫師又は他の明白に信用し得る個人の、眞に其の必要ある事の證明がある

時に限るといふ條件が放送團體側に課せられてゐるのが通例である

此の形式の公益事業の効果如何は、英國に於て、一九三一年中に、此の種の全放送回数九一〇中三七八が明らかに成功を収めた事實に見ても察知し得られるであらう。大體の通信内容は本節の標題の如き性質のも

のであるが、緊急を要する重大なる職務が幾多遂行され成功してゐる。現に、處方を間違へた藥劑師が依頼者に警告を發して災害を未前に防止し得た例がある。最近の例では、針を嚙下してゐた小兒が病院から歸來

後、X光線寫眞で其の針が危険箇所にある事が判明し、病院の依頼に依り其の由を放送し、小兒を病院に呼び返し、手術の結果事無きを得た

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一二七	八	七〇・四〇	八・五〇
亞弗利加		三			
×北及中央亞米利加		一八一	六六	一、一一二・三〇	一七・三〇
南亞米利加		一			
亞細亞		二	一	一・〇〇	一・〇〇
大洋洲		三〇	七	二〇六・〇〇	二九・二五
計		三四四	八二	一、三九〇・一〇	一六・五七

× 亞米利加の放送局の若干は、此の種の告知に毎日定期の時間を割いてゐる。此の放送には料金を課してゐる所も二、三あるが、此の方法は極く稀のやうである

六、小學兒童への特殊教育プログラムの放送

これは放送の重要な発展の一であつて、現在諸國に於て教育當局と協力して行はれてゐる。學校の教室は通例特に此の目的の爲に作られた受信

機が設備されてゐて、特定級の児童は學課に關聯した課目に就て諸大家の講演を直接に傾聴し得るやうになつてゐる。これ等の専門家は教師の位置を奪ふのではなく、教師の授ける基礎的教育を補ひ、同時によく了解のゆく方法で、児童の興味を喚起するのである。此の活動の發展の主要は、以下の事實から察知せられるであらう。即ち獨逸に於ては、一九三一年末に、二〇、

〇〇〇の學校が此の種の放送の受信設備をしてをり、英國に於ては、既に四、〇〇〇校、瑞典に於ては、六八五校を算してゐる。最近、一九三二年一月に學校放送を開始した許りの埃太利でも、參加學校數は既に約一、〇〇〇に及んでゐる

註 國に依つては校舎及び校内受信機を、夜間、成人教育放送聴取用に供してゐる。(第七項参照)

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		101	95	12,573.55 <sup>時</sup>	132.21 <sup>時</sup>
亞弗利加		1	1	40.00	40.00
北及中央亞米利加		122	71	7,507.00	105.44
南亞米利加		1	1	365.00	365.00
×亞細亞		1	1	268.00	268.00
大洋洲		17	7	268.00	38.17
計		243	175	20,753.55	118.36 <sup>(一局)</sup>

× 印度の一局が一九三一年に學校放送を開始した

七、夜間の特別成人教育放送

成人教育は、總ての國では行はれてゐないが、これが組織的に實施されてゐる數ヶ國では、既に放送がこれを援助してゐる

普通行はれてゐる方法は、教育當局者より成る會が、放送團體と協定して、時事並に教育に關するものに限

られた、適當な夜間の連續講座を決めるのである。個人的興味を増す爲に、出來得る限り、圖書館、村會堂などの公の施設内に、聴取團體を作らしてゐる。團體には夫々訓練された指導者があり、放送終了後には、通例、各人の自由に參加し得る討論會が開かれてゐる。此の聴取團體組織の運動は歐洲諸國に弘つてゐる

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		117	97	32,608.30 <sup>時</sup>	336.21 <sup>時</sup>
亞弗利加		3	3	39.00	13.00
北及中央亞米利加		145	83	9,458.45	113.58
南亞米利加		1	1	100.00	100.00
亞細亞		12	12	5,368.26	447.22
大洋洲		21	11	653.00	59.22
計		299	207	48,227.41	233.59 <sup>(一局)</sup>

八、ラヂオ体操

此の種目は、概して早朝放送され、其の實行は自宅で各聴取者の自由に任されてゐる

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		七五	四〇	五、八六五・〇〇	一四六・三五
亞弗利加		一	一	七、二二九・三〇	一九〇・一五
北及中央亞米利加		六二	三	四、六四四・八六	四二二・二六
南亞米利加		一二	一	二五・〇〇	二五・〇〇
大洋洲		九	一	一七、七六四・五六	一九七・二三
計		一五八	九〇		

九、農業講座の放送

編成宜しきを得た此の種の放送が、特に農業關係の地方に於て重要性を持つことは力説する迄もない。後掲の数字が示すやうに數放送局は自發的に之を行つてゐるが、他に農務省に代り、通常の一般的並に季節的

助言以外に、作物の保護及び良收穫を擧ぐるに必要な、緊急官廳公示事項をも放送する局があるが、これに就ては後段に述べる

各社會層に對するかゝる講演の價値を評價する事は不可能であるが、必ずや多大なるものがあるであらう

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一三五	九三	七、七八四・五八	八三・四三
亞弗利加		四	四	五五六・三〇	一三六・三五
北及中央亞米利加		一六二	九七	一二、九九七・〇〇	一三四・〇〇
南亞米利加		一	一	一七六・五四	一四・三四
亞細亞		一三	一	三二二・〇〇	二七・〇〇
大洋洲		一七	一	二一、八三七・二三	一〇〇・一〇
計		三三三	二一八		

一〇、青少年の爲にする職業教育に関する放送

斯る講座の放送は、人口の稀薄な諸國及び地勢の關係上農村地方が都會地より非常に隔離されてゐる國々に於て、特に發達を遂げてゐる

瑞西の一地方(ヴォー郡)では、職業教育放送の聴取が強制され、若い徒弟達はラヂオで講義された題目に關して或る期間毎に試験されてゐる

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の総放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		九一	一三	二五〇・〇〇	一九・一三
亞非利加		二			
北及中央亞米利加		一五六	七四	三、四四五・〇〇	四六・三三
南亞米利加		一			
亞細亞		一三	一一	一六八・一九	一五・二九
大洋洲		二一	九	二四〇・〇〇	二六・四〇
計		二八四	一〇七	四、一〇三・一九	三八・二一

一一、産業發展の爲にする權威者の經濟學並に産業に關する講演の放送

これ等の講座回数、放送が經濟學に關する一般の興味を喚起するに有效の手段である點と又現時の經濟狀勢が危機に瀕してゐる原因とに依り、益々増加の趨勢にある

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の総放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一三〇	五一	二、二三一・二五	四三・四五
亞非利加		四	一	一〇・三〇	一〇・三〇
北及中央亞米利加		一六九	七四	三、二四九・〇〇	四三・五四
南亞米利加		一	一		
亞細亞		一四	一二	四〇〇・〇〇	三三・二〇
大洋洲		二三	八	五三八・〇〇	六七・一五
計		三四一	一四七	六、四二八・五五	四三・四四

一二、社會問題に關する諸研究の放送

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の総放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一二五	五〇	三、五三一・四五	七〇・三八
亞非利加		一〇五	四九	一、五六〇・一五	三二・一五
北及中央亞米利加		一			
南亞米利加		一			
亞細亞		一三	一二	一、七一〇・〇〇	一四二・〇〇
大洋洲		一六	四	一八二・〇〇	四五・三〇
計		二六〇	一一五	六、九八四・〇〇	六〇・四四

一三、海外事情の紹介放送

凡例 (a) 語學講座

(b) 定期の外國及び國際事情解説

(c) 海外旅行趣味普及の爲にする放送(二六頁参照)

一九三一年九月、國際聯盟會議に於て、大多數の世界各國が、國民相互の理解を増進せしめる手段として放送を最も有効に利用する方法に就て、組織的の攻究を爲すべき事を決議した

國際放送聯盟其他諸團體の協力を得て、巴里萬國學術會議が始めて試みた調査に依れば、既に此の目的の爲に各種の番組が多數の放送團體に依つて編成されてゐる事を示してゐる。今迄の所最も明らかに實施されてゐるのは語學講座であるが、更に今日では、諸國に於て放送團體が、適當の時期を選んで國際事情に造詣の深い士を聘して國際的性質を帯びる時事問題並に其の意義に就て講演せしめてゐる

尙歐羅巴の數箇の放送團體は(最近亞米利加の二大放送網も參加してゐる)重要なる國際會議に參加せる各國務大臣其他の代表者の演説を各自國に放送する爲にジュネーヴから中繼するのを常としてゐる

(a) 語學講座

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴	一	一一	六七	六、五七五・三六	九九・三〇
亞非利加	一	六〇	三三	一、九〇六・〇〇	五七・四六
北及中央亞米利加	一	九	一一	一、四六八・〇六	一三三・四六
南亞細亞	一	九	一一	九、九四九・四二	八九・三八
大洋洲	一	九	一一		
計		一九二	一一一		

(b) 定期の外國及び國際事情解説

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴	一	一一	九六	三、九〇七・二〇	四〇・四一
亞非利加	一	一〇	五二	一、一二八・〇〇	二一・四一
北及中央亞米利加	一	一〇	一一	二一、五三八・〇〇	一九・五八
南亞細亞	一	一〇	一一	五〇七・〇〇	五〇・四二
大洋洲	一	一〇	一一	二七、〇八〇・二〇	一六〇・一四
計		二五一	一六九		

一四、公認慈善施設又は罹災地方民の爲にする寄附金募集の放送

此の放送は未だ正規又は一般に行はれてゐない。或る程度、各國の病院及び公共慈善施設の状況が影響を及ぼしてゐる

例へば、國家の補助を受けず、有志の寄附に依つて病院が維持されてゐる英國にあつては、名士の寄附金募集放送は多大の成功を収めてゐる。此の方法で募集した總額は、大不利益で、一九三一年に於て、六五、六七四磅に達してゐる

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一一〇	四	五一・〇〇	一二・四五
亞非利加		四			
×北及中央亞米利加		一九三	六二	一、七一九・〇〇	二七・四三
南亞米利加		一			
亞細亞		三	一	三・〇〇	三・〇〇
大洋洲		二八	一一	三九九・〇〇	三六・一五
計		三三九	七八	二、二七三・〇〇	二七・五一

× 亞米利加合衆國の一局は六年間に三五〇、〇〇〇弗を募集し又他の一局は貧困及び窮乏者に食糧、衣服を募集する爲に、一日一時間宛放送してゐる

一五、病院への受信機無料設備

恢復期にある入院患者の無聊を慰め得る施設を病院に施す爲に慈善心に富んだ人々に訴へる試みは常に成功を収めてゐる。この目的の爲に既に多額が募集されてゐるが、尙益々盛んに行はれてゐる。或る場合には、養老院及類似施設にも聴取便設が計られてゐる

一六、盲人及び不具者に対する受信機負擔の免除

數ヶ國の放送團體は、關係官廳と協議の上、盲人に對して年々の聴取許可料を免除し或は彼等に適當な受信機を提供してゐる。國に依つては二項共に實施して

ゐるが、點字の放送番組の特輯號を出してゐる國も一、二ある。盲人の他、病床にある患者及び世界大戰の不具者にも同一の特典を與へてゐる國も見受けられる

\*

\*

放送團體の創意に基いて遂行されてゐる上述の事業の他に、これらの放送團體が國家の關係官廳と協力して而も通例右官廳には何等の費用を負擔せしめずして行つてゐる數個の事業がある

以下にその九つの事例と進んでこれに關する詳細を寄せられた諸團體の放送時間を擧げる

分類Bに屬する事項

一、犯人逮捕及び法律、命令の執行に關して警察に協力せる報道

數ヶ國の警察當局は今日専用の無線施設を有し、これに依つて緊急を要するニュースは各方面の遠隔の地點にある警察署に同時に放送し得るが、犯人搜索方法

を廣く一般國民間に放送する事が、犯人捕縛上及び上述せる如く、行衛不明者の發見上警察に非常に助けとなる事が屢々明らかにされてゐる

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一二七	八	三三・一二	四・〇九
亞弗利加		三			
北及中央亞米利加		一七五	五八	一、〇九二・〇〇	一八・四九
南亞米利加		一			
亞細亞		三	一	〇・三〇	〇・三〇
大洋洲		二一	四	一九・〇〇	四・四五
計		三三〇	七一	一、二四四・四二	一七・一四

二、農務省發表の天候不良及び各種の疾病に對する家畜並に農作物の保護に關する告示

放送が一國內の遠隔なる諸地方との、唯一の、日々の、即時の接觸方法である事が多々ある事に見れば、斯る告示の重要性に就ては多言を要しない

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一〇九	二九	二四九・四〇	八・三七
亞弗利加		四	一	一〇・三〇	一〇・三〇
北及中央亞米利加		一五二	五五	三、九四一・〇〇	七一・三九
南亞米利加		一			
亞細亞		一三	一	一〇・〇〇	一〇・〇〇
大洋洲		一八	四	三八・〇〇	九・三〇
計		二九七	九〇	四、二四九・一〇	四七・一三

三、政府諸官廳に於て取纏むる統計事務上の援助を求むる告示（所得稅申告書、國勢調査書式等の記入に關するもの）

今日迄の所此の方面には大した活動を見なかつた

然し、一九三〇年の英國に於ける國勢調査に際し、大不利願戶籍長官が全國の聽取者に向つて國勢調査の目的及び申告書記載方に就て説明し成功を收めた。同長官は其の後彼の大事業達成に放送の助力した事を稱揚してゐる

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		四六	三	一六・〇〇	五・二〇
亞弗利加		四	四	六・一〇	一・三三
北及中央亞米利加		一六三	三〇	四七一・三〇	九・二五
南亞米利加		一			
亞細亞		二	一	二・〇〇	二・〇〇
大洋洲		一二	二	二一・〇〇	一・〇三〇
計		三三八	六〇	五一六・四〇	八・三七

四、保健省發表の、國民保健の増進又は流行病豫防に關する告示  
放送の價値は今日各保健省長官の深く認める所である

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		七七	七	九五・〇〇	一三・三四
亞弗利加		四	一	一〇・三〇	一〇・三〇
北及中央亞米利加		一七三	六七	一、六二一・二五	二四・一二
南亞米利加		一			
亞細亞		三	一	三・〇〇	三・〇〇
大洋洲		一九	二	五・〇〇	二・五〇
計		二七七	七八	一、七三四・五五	二二・一五

五、關係官廳發表の暴風雨、洪水、山火事等焦眉の危險警戒に關する告示  
放送局を此の爲に使用する必要は、幸にも比較的少ないが、和蘭に於ては同地方住民に堤防破壊に續く洪水の警戒に關し又亞米利加諸國に於ては暴風襲來に際して放送を利用して多大の効果を收めてゐる

國際放送聯盟に参加せる諸放送團體は、萬國赤十字社と常時提携して、危機に際して、國民の徳性を擁護し、食糧品其他罹災民の安寧上缺く可からざる諸物資募集の爲に助力する事となつてゐる。船舶への強風警戒に就ては既に述べた

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		六九	一	三二・〇〇	三二・〇〇
亞弗利加					
北及中央亞米利加		一一四	三一	二七九・三〇	九・〇〇
南亞米利加		一			
亞細亞		一四	一	一・〇〇	一・〇〇
大洋洲		二一	四	四〇・〇〇	一〇・〇〇
計		二一九	三七	三五二・三〇	九・三三



六、重大なる危機に際し關係官廳發表の、國民の大多數に、直接且即刻に、呼び掛ける爲の告示

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一〇七			
亞非利加		三			
北及中央亞米利加		九九	一〇	五八・〇〇	五・四八
南亞米利加					
亞細亞		一	一	二〇・〇〇	二〇・〇〇
大洋洲		一九	一	五・〇〇	五・〇〇
計		三三九	三	八三・〇〇	六・五五

七、觀光獎勵關係官廳又は半官的團體發表の旅行趣味普及に關する告示

最近の經濟的危機に至る迄は、各國の旅行熱鼓吹に利害を持つ諸團體が、放送團體と提携して自國の名所に並に特殊の旅行便誼を廣く宣傳する傾向が段々著しくなつてゐた。此の活動は尙繼續してゐるが、經濟的危

機に依る財政困難の爲、放送は多くの場合、地方旅行を奨励する様性質を變じてゐる。放送團體の行ふ此の協力には、差少ではあるが、教育的價値が認められる。即ち、此の種の講演の多くは、純旅行趣味的な題目を離れて、話題に上つてゐる地方民の生活、藝術、文學等に就て聽取者の興味を捕へる事に力めてゐる

大陸別	摘要	肯定回答數	精密なる資料を寄せた局數	第二欄諸局の總放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		九一	四四	七一三・〇〇	一五・五八
亞非利加		三			
北及中央亞米利加		一一四	四一	一、〇三五・〇〇	二五・一四
南亞米利加		一			
亞細亞		一			
大洋洲		一七	七	一〇七・〇〇	一五・一七
計		二二七	九二	一、八五五・〇〇	二一・三八

八、樹木損傷及び屑物撒布に依る田園美破壞防止に關して斯界權威者の公衆に訴へる告示

公益事業に關する斯る告示の放送は益々發達を示してゐる。其の効果は、直接に禁止事項を述べるよりも寧ろ適當の機會を巧に選擇して——通常公休日の前——

此の點に關して市民として義務の存する所を想起せしめる方が一層多大である

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		八六	一	九〇・〇〇	九〇・〇〇
亞弗利加					
北及中央亞米利加		一二七	三四	四二四・〇〇	一二・二八
南亞米利加					
亞細亞		一		五・〇〇	五・〇〇
大洋洲		一三	一	五九一・〇〇	一四・二五
計		二二七	三六		(二局) 一四・二五

九、官廳發表の販賣者及び購買者双方の便益の爲にする魚類及び農産物の現在市價に関する告示

斯る告示の放送は、種々の原因に依り時々需要、供給の均衡に異常な障害が起る國々に於て段々發展を遂げてゐる。依つて此の放送の示す數字は大ではないが、遂行せる事業の價値は統計に現はれてゐるよりも遙かに大であり得るのである

大陸別	摘要	肯定回答数	精密なる資料を寄せた局数	第二欄諸局の放送時間	第二欄諸局の平均放送時間
歐羅巴		一一三	五三	五、八〇六・〇〇	一〇九・三二
亞弗利加		一	一	六・〇〇	六・〇〇
北及中央亞米利加		一一七	四九	四、八八一・三〇	九九・三七
南亞米利加		一	一		
亞細亞		一四	一二	七四〇・一七	六一・四一
大洋洲		一九	六	九一一・〇〇	一五一・五〇
計		二六五	一一一	一一、三四四・四七	(二局) 一〇二・一四

以上各種の一見明らかかな公益的諸活動の外に、放送事業主腦者の創意及び地方事情に基く特殊の必要に依り、種々の有意義な事業が爲されてゐる

例へば、南亞聯邦では、放送が金坑に働く土人の爲に「安全第一」の宣傳に利用されてゐる。毎朝、各坑の土人が聴取し得る時間を選んで、生命保護に關する注意が英語及び土地の言葉で放送され、坑夫は坑内に下る前に堅坑の口でこれを聴取してゐる。亞米利加合衆國では種々特殊の公益事業が行はれてゐる。即ち、一局は毎週公共問題の討議に其の放送室を解放し、他の局は毎日曜定つて兒童愛護に關する番組を放送し、又或る

局は約五千の病床にある人々の爲に慰安放送を行ひ、他の一局は各種の専門學校と協力して、學校教育に恵まれなかつた成人の教育に志してゐる。匈牙利放送會社はあらゆる事件に關する報道及び助言を提供する任に當つてゐる

二、三年前のアラバマ大洪水の際は一放送局で、罹災者救援の爲、何貨車もの衣類、食糧及び一般雜貨と共に、二〇〇、〇〇〇弗を募集した

日本では諸放送局が「求人」に關して傭主の寄せた信憑し得る紹介の放送に、一年約一千時間を割いてゐる。此のサーヴィスは、日本放送協會の云ふ所に依れば「一般に歓迎せられ且效果的である」との事である。

尙一つ日本で「公益事業」とも見られる活動は、日本の放送團體が其の聴取者の有する受信機の診療に當つてゐる事である。例へば、一九二九年中に、三二二、五九〇個の受信機が審査を受けてゐる。

優良なる受信状態を確保する責任は實際上持たないが、多くの放送當事者は、技術問題に就て聴取者を援助し又電車、X光線装置、昇降機、冷凍器等に依る電氣的障害の除去に多大の努力を致してゐる。

日本で發達してゐるのと同性質のサーヴィスが濠洲クキンスランドでも行はれてゐるが、これは同地方のロータリー俱樂部事業委員會と協力して、少年の農場勞働紹介の爲に放送してゐる。人口が廣く分散し、屢々、定期の運輸、報道の便から甚だしく離れてゐる濠洲に於ては、放送が又郵便、船舶及び汽車に關する確實なるニュース傳達の役目をしてゐる。

分類A—放送局が自發的に、國家より獨立して行ふ各種の「公益事業」に關するものに就て述べると、一九三〇年に、平均一四五局丈で、一五三、三七八時間（一五、

三三六放送日數に相當)を此の事業に充當してゐる。右の數字を基礎として推算すると、世界の放送當事者が斯る「直接の公共事業」に自發的に充當した總時間、一九三〇年に於てすら、五〇、〇〇〇放送日數を下らないであらう。

分類B—諸放送局が諸官廳と提携して、無料で其の發表に掛る一般國民に重要な告示の放送を行ふ場合—に關しては、Aに比して其の數が少ないが、それは、一九三〇年に於ては、諸官廳で未だ放送手段を有効に利用しなかつた國が相當あつたからである。乍然、分類B中に掲げた此の種の九種の事業に於て、平均八四局が此の事業に一ヶ年三〇時間以上即ち一局一週間に約三五分を充當してゐる。

以上に依り、一般の報道、教養及び高尚なる慰安の供給者としての其の社會的役割以外に、更に一步進んで放送が幾多の特殊の公益事業を遂行しつゝある事が明らかである。

### 第三章 放送に投下された資本

世界の放送局數は一九二六年の九九五から一九三〇年の一一〇五に増加したことは既に述べた。又同期に於てこれら諸局の使用電力合計が一〇五五キロワットから三四二七キロワットに増加した事も明らかにしたが、更に一步を進めてこれを見ると、上述の五ヶ年間に於ける進歩は偉大であつたけれども、將來尙一層の飛躍を遂げる證據が歴然としてゐる。歐羅巴の放送局丈の使用電力合計（一九三一年末に於て二、五九〇キロワットであつた）が一九三三年には四、六〇〇キロワット以上即ち、一九二六年の歐羅巴諸局の使用電力の殆んど四〇倍に達するであらう。

此の驚くべき發達は特に放送の技術的方面に限局されてゐない。放送事業の他のあらゆる分野に於てもこれに相當する發展を遂げており、これに伴つて、藝術家及び音楽家、作家及び作曲家を常時或は臨時雇傭する數並に其の報酬額は益々増加を來してゐる。

世界の放送團體が其の放送局、放送室及び事務所に投資した額の正確な數字を擧げる事は不可能である。現在（一九三二年七月）約二二四〇の放送局があるが、次の數字からその資本支出の大體の見透しが得られるであらう。

(一) 國際放送聯盟が直接入手したる資料

(數字は一九三〇年を示す)

大陸別	摘要	資料を寄せた局數	之等諸局への投資總額
亞非利加		四	瑞西法 一、三二三、七三〇
北及中央亞米利加		一四五	同 六四、八三三、二二七
南亞米利加		一	同
亞細亞		一二	同 二四、二七三、五〇〇
オーストララシア		二一	同 二、〇一五、四七三
歐羅巴		六九	同 五九、三八二、六八五
計		二五一	瑞西法 一五一、八二八、六一五

(二) 亞米利加合衆國に於て聯邦ラヂオ委員會が最近出版した一報告書に依れば、一九三一年に於て、五七一の獨立局及び同國の主要放送網への投資總額は約二四〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法と見積られてゐる

(三) 此の總額に稍近い數は、合衆國國立教育放送

諮問會に屬する工業獎勵諮問委員會が、附屬放送室及び事務室を有する各種電力使用の放送局の大略建設費及び維持費に關して、一九三一年に計算した見積中に見られる

次にその數を示せば

投下	資	年	額
(放送機、空中線鐵塔、本)	(放送室、事務室及び器械裝置)	維持	費
一、〇〇〇ワット	二二四、五〇〇瑞西法	二四五、二五〇瑞西法	
五、〇〇〇ワット	六三五、〇〇〇瑞西法	(假定一日五時間放送) 六二五、五〇〇瑞西法	
五〇、〇〇〇ワット	一、六九〇、〇〇〇瑞西法	(同一二時間) 一、四八〇、七五〇瑞西法	

以上三種の報告に依つて、第一項及び第二項に含まれてゐない放送局の場合を計算すると、放送局、放送室及び事務室に投資されてゐる額は、内輪に見積つて、現在

三七五、〇〇〇、〇〇〇瑞西法から  
四〇〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法の間

にあるといふ結論に到達する  
投資額の評價には聴取者側をも考慮せねばならぬ、それは放送當事者の夫の數層倍である事が普通である

四球附受信機一組は今日平均、四〇〇瑞西法位である。更に高價な受信機も多數販賣されてゐるが、一方多數の聴取者は、購入及び取付け費用一〇〇法以下の

礦石式受信機を愛用してゐる

此の評價の爲今日世界中に使用されてゐる總受信機の平均價格を一二五瑞西法と見る

受信機施設を有する世帯數は同様に内輪に見積つて三四、五〇〇、〇〇〇であつた。これ等の受信機を廉く、一二五瑞西法と見ても

四、三二二、五〇〇、〇〇〇瑞西法

となり、これが聴取者が放送プログラム受信の爲に所有する機器の現在價格である

備考 此の評價の過少である事は、亞米利加合衆國丈でも、一九二九年に於て、ラヂオ工業は、四、二四七、〇〇〇、〇〇〇瑞西法に達するラヂオ機器を産出し、眞空管丈の生産が六九、〇〇〇、〇〇〇個即ち八七〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法に上つてゐる事實に見ても明らかである

### 第四章 放送事業従事者

放送事業に従事せる職員数は、團體毎に、其の財源、其の行ふ事業の範圍及び程度に依り著しく相違してゐる

國際放送聯盟の發した質問に對して回答を寄せられる

た數字の示す所に依れば、一九三〇年一二月現在、世界の總放送局一、一〇五中三三九局の常備職員数は、一一、九一三人であつて、其の内譯は次の通りである

大陸別	摘要	資料を寄せた局數	總人員
亞弗利加	加	四	六四
北及中央亞米利加	加	一九五	四、一四八
南亞米利加	加	一	四七
亞細亞	加	一四	一、八五七
大洋洲	加	二八	四三一
歐洲	加	九七	五、三六六
計		三三九	一一、九一三

備考 英國、獨逸及び日本の放送團體丈で（一九三〇年一月三十一日に於ける聴取加入者數七、六六五、四八二人）其の従事者總數は、五、〇一二人を算してゐる  
一九三〇年末に於ける、世界の總放送局の従事者數は、二五、〇〇〇乃至三〇、〇〇〇人と見積つて差支へない

藝術家及び音樂家への支拂額  
職員に次で、諸放送局が其の放送に寄與せる、オーケストラ員、藝術家、講演者に與へてゐる援助に就て一考すれば、國際放送聯盟は一九三〇年に就て次の數字を得た

大陸別	摘要	數字を寄せた局數	藝術家及音樂家への支拂額
亞弗利加	加	三	六五、六一二 <small>(獨逸法)</small>
北及中央亞米利加	加	一〇四	二四、六七九、五三八
南亞米利加	加	一	二二、五〇〇
亞細亞	加	一四	一、八六六、六二四
大洋洲	加	五	七〇、八六六
歐洲	加	一九	三一、九四九、三四七
計		二四六	五八、六五四、四八七

備考 以上の数字は、第四章末尾の数字と關聯して讀むべきである。或る放送團體は此の表に著作権使用料を算入し、次表から之を削除してゐる。これは、勿論全體數には影響しない

作家及び作曲家への著作権使用料

これ等の藝術家への謝禮以外に、放送團體は、作家

及び作曲家に（直接又は彼等の團體を通じて）其の作品使用料として多額の支拂を爲してゐる  
國際放送聯盟が最近蒐集した資料（不完全ではあるが）が又之等支拂の範圍を示すに役立つてゐるが一九三〇年現在世界の總放送局一〇五中、僅か二七九局に就ての數字である事に注意を要する

大陸別	摘要	數字を寄せた局數	一九三〇年に於ける作品放送使用料として作家及作曲家への支拂額
亞非利加	加	四	一二、七九四
北及中央亞米利加	加	一四九	一六、九一七、〇五八
南亞米利加	加	一	三、〇〇〇
亞細亞	亞	一二	一九三、五八八
大洋洲	大	一二	二八〇、一四二
歐洲	歐	一〇一	五、五五八、八五九
計	羅巴	二七九	三三、九六六、四四一

注 前表の備考参照

備考 亞米利加合衆國聯邦ラヂオ委員會の最近の報告に依れば同國の獨立五七一局及び四亞米利加放送網會社が、一九三一年に、藝術家謝禮及びプログラム費として支拂つた額は、二〇、一五九、六五六弗（約一〇〇、七九八、二八〇瑞西法）である以上を綜合すれば（國際放送聯盟の數字は一九三〇年を示し、一九三一年度のではないが）大約次の數字を得る  
「藝術家謝禮」及びプログラム費として北米合衆國諸局の支出

額（一九三一年） 一〇〇、七九八、二八〇  
「藝術家謝禮」として北米合衆國諸局以外の一四二局の支出額（一九三〇年） 三三、九七四、九四九  
「著作権使用料」として北米合衆國諸局以外の一三〇局の支出額（一九三〇年） 六、〇四八、三八七  
以上計 一四〇、八二一、六一六  
全世界の放送局の一年間の此の種の支拂額は、今日に於ては遙かにこれを超過してゐる

第五章 放送事業の財政

放送事業は、明確に區別される二つの主要方法に依つて經理されてゐる

歐羅巴の大部分、日本及び英領では、聴取者が必要な資金を供してゐる。聴取者は無線受信装置施設の

法律上の権利を獲る代償として年々逓信省へ一定額を納付するが此の逓信省の所得の處理方法は國に依つて相違してゐる。一、二例では、全額が公認放送協會へ所屬放送局維持並にプログラム編成費として支給され、其の他の場合は、一部が管理費として保留されてゐる。尙國家が技術的操作即ち送信機の設置及び運用を司つてゐる所では、逓信省が所得の何割かを——最高六割迄——保留し、又、國庫が聴取料收入の一部分を保留する所もある。

聴取許可料制度を採用してゐる適例は、獨逸及び英國である。

獨逸に於ては、一九三一年中に、三、九八〇、〇〇〇  
○世帯が各二四マルク即ち總額八八、八〇〇、〇〇〇  
マルクを納付し、その中政府は、技術方面の管理及び  
運用費として、五〇、六〇〇、〇〇〇マルクを保留し、  
放送團體は、三八、二〇〇、〇〇〇マルクを支給され  
てゐる。

一九三一年末に於て各一〇志を納付する世帯數四、

三三〇、七三五を算した英國では、總收入二、一六五、  
三六七磅を次の如く分配してゐる。即ち、國庫及び郵  
政廳一九八六、三三五磅一〇志七片 英國放送協會一  
一、一七九、〇三一磅一九志五片で、此の額をB、B、  
Cは所屬放送局の維持及び運用費並にプログラム編成  
費に充當してゐる。

世界の他の地方、殊に亞米利加合衆國、南亞米利加、  
佛蘭西及び西班牙では、放送團體は主として直接又は  
間接の廣告放送の收入に依つてゐる。この場合は、  
プログラム費は、聴取者であるか否かに關せず、廣  
告された品物の購買者に依つて支辨されてゐる理で  
ある。

以上の主要方法と異なるものも多少あるが就中特徴  
のあるのは和蘭であつて、放送業務は全然聴取者から  
の有志寄附金に依つてゐる。

斯くの如き相違がある爲、實際に放送業務に費され  
てゐる總額に關して、正確なる數字を得る事は困難で

ある。

最近の、最も確實な資料は亞米利加合衆國聯邦ラヂ  
オ委員會の報告中に見られる。これは一九三一年中に、  
五七一の獨立局及び四大「放送網」會社がその放送業  
務に費した額に關するものである。上述諸團體の總額  
は、通常爲替相場で、約七八、〇〇〇、〇〇〇弗（大  
略三九〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）であつた。

世界の他の諸國の一九三一年度の數字は未だ入手し  
てゐないが一九三〇年度の方は相當確實なる數字が得  
られる故、これに依つて一九三〇年から一九三一年に  
至る間の放送の大發展を斟酌して判斷すれば、放送事  
業財政の現狀に就ての明確なる觀念が得られるであら  
う。一三〇局を有する歐羅巴の一三ヶ國からの一九三  
一年度の報告に依れば、各逓信省が許可料として聴取  
者より徴收した額は

一七四、一七五、六八〇瑞西法

である。

尤も種々の官廳が分配に與る故この總額が放送に使

用された理ではないが、上述の額の内一四三、九五三、  
二八四瑞西法が此の一三ヶ國に於て實際に放送業務に  
充當されたやうである。

日本の當局者の報告に依れば一九三〇——一九三一  
年間の聴取料收入は約一九、二九一、五三〇瑞西法を  
示し又濠洲聯邦からの同種の權威ある報告に依れば一  
九三〇年度に於て二一、二五〇、二二九瑞西法に達し  
てゐる。

これ等の四群を總計すれば

亞米利加合衆國（一九三一）

三九〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法

歐羅巴（一九三〇）に於ける一三ヶ國のみ）

一四三、九五三、二八四 "

大洋洲（一九三〇）

二一、二五〇、二二九 "

日本

一九、二九一、一五三 "

これ等諸國の總計は約五八〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法  
となる。

右は當時開局してゐた總數約一一〇五中の僅か七三

七局が放送に費した年額（一九三〇年又は一九三一年中）である事に留意されたい

或る亞米利加の専門家の見積る所では一、〇〇〇ワットの送信機を有する一放送團體の維持費年額は一、二二六、二五〇瑞西法であつた

以上の計算外の三六八局が平均一、〇〇〇ワットの放送所を有するとは考へられない

依つて其の経費年額を平均僅かに三〇〇、〇〇〇瑞西法（一、〇〇〇ワットの一局分の四分の一未満）と

### 放送の國家に對する價值

諸放送團體が、國民一般の福祉に貢獻し、國家諸官廳の諸種の職務執行上裨益する所ある資料の放送の爲、無料で、貴重なる其の放送時間を割いてゐる事は既に述べた

四〇

假定しても、これ等の殘餘の局の費した額は一一〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法を下らないであらう

これ等の二總計を合すると

(a) 確實なる資料に依る七三七局の分  
五八〇、〇〇〇、〇〇〇

(b) 殘餘の三六八局の分

一一〇、〇〇〇、〇〇〇

實際に放送業務に費され経費の年額は、内輪に見積つても六九〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法に達してゐる

放送團體の國家への貢獻は道德上の援助のみに限られない。今日各國に於ては放送當事者から、特殊の技術上の助力に對する國家への支拂の形式により、或は間接に、聴取者より徴收した許可料の一部を國家が保

留する方法等で、可なり多額が國家の手に歸してゐる  
許可料制度を採用してゐる數ヶ國では、逓信省は聴取料収入總額から其の一割乃至二割を管理費として控除してゐる。又この外に、他の諸國では國庫が一般歳入の一部として相當多額を收納してゐる

而して一九三〇年に英國郵政廳が聴取許可證所有の聴取者より徴收した一、六九六、〇〇〇磅（四〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）中、同廳及び國庫が保留した額は六三五、〇〇〇磅（一五、八七五、〇〇〇瑞西法）を下らなかつた

獨逸に於ては一九三一年に同國郵政廳は聴取料収入中一〇、〇〇〇、〇〇〇マルク（約一二、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）を國營無線事業に對する補助金として割いた

放送事業は各國家の電話財政へ年々多大の貢獻を爲してゐる。尤も放送の電話當局に要求する所は、普通通話に必要な以上の更に高級且高價な技術的業務である。放送當事者が電話回線を使用してゐる程度は、亞米利

加合衆國に於ける一二の放送網丈で一九三一年に亞米利加電信電話會社から約九〇、〇〇〇哩（一四四、〇〇〇キロメートル）の單線を借入れた事實に見てもその大凡が察知せられるであらう。獨逸に於ては一九三一年中に獨逸放送會社は電話回線借入れに一、四〇〇、〇〇〇マルク（一、六八〇、〇〇〇瑞西法）を支拂つてゐる

放送の發達の結果國家が間接に受ける財政上の利益にも頗る大なるものがあるに相違ない。在來の諸事業（例へば出版事業）が刺戟を受けて新活動を始めたのみならず放送による諸種の新事業が創設されてゐる。以上の諸事業及びこれに携はれる人々が國庫歳入に重要な寄與を爲し又失業問題緩和に役立つてゐる。次に示す數字は、これ等諸事業の急激なる發展經過及び現況を知る一助となるであらう



## 第六章 放送の工業に及ぼせる影響

ラヂオ工業のみに關しては入手せる資料は不完全ではあるが、其の經濟上財政上に於ける重要性に就ては何等疑を容れる餘地がない

放送が始めて正規の業務として開始された合衆國に於て一九二〇年に於けるラヂオ工業は二、〇〇〇、〇〇〇弗（一〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）を超えなかつた。エツチ、ビー、デヴィス氏（ウエスチング電氣會社副社長）の云ふ所に依れば一九二七年迄に「總て放送の賜物」により年額五〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗（二、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）の事業に發展した。一九二八年には、紐育信託會社の發表に依れば、これが六五〇、〇〇〇、〇〇〇弗（三、二五〇、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）となつてゐる

一九二九年には、合衆國ラヂオ工業の總生産高は四、二四七、〇〇〇、〇〇〇瑞西法と評價されてゐる。一九三〇年には、一三〇、〇〇〇を下らない人々が亞米利加ラヂオ工業に従事してゐる

英吉利ラヂオ工業（即ち、ラヂオ工業の放送關係方面）は一九二二年に於ては何等見るべきものがなかつたが、一九二六年には、七、〇〇〇、〇〇〇磅（一七五、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）に、一九三一年には、二五、〇〇〇、〇〇〇磅（六二五、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）に發達してゐる。今日に於ては其の従業員數一〇〇、〇〇〇人と見られてゐる

獨逸のラヂオ工業は、一九二四年と一九二九年とでは一三〇倍に増大してゐる。而して一九二九年の獨逸

ラヂオ工業一期の賣上高は一八五、〇〇〇、〇〇〇マルク（二二二、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）であり、此の時迄に其の従業員は一七、〇〇〇人を算してゐる。獨逸の受信機貿易は一〇〇、〇〇〇、〇〇〇マルク（一三二、〇〇〇、〇〇〇瑞西法）に達した

佛蘭西に於ては、不幸にして實數は手にし難いが、然し、ラヂオ雜誌の廣告及び年々開催される展覽會の出品から見て、斯業が近年大發展を遂げてゐる事は明らかである

和蘭に於ては、一九三〇年の最初の一〇ヶ月間に無線機器の輸出で、五一、四九二、〇〇〇フロリン（一〇六、九三三、四三六瑞西法）に達してゐる

丁抹に於ては、一九三〇年に六、〇〇〇人が無線機器の製造及び販賣に従事しており、埃太利に於ては五、〇〇〇人である

一方、放送は他の諸工業に對しても重要性を持つて

ゐるが、それは以上程分明ではないとしても、看過してはならない所である

先づ、放送事業の結果新たに電流に對する需要を著しく増加してゐる。一國に於ける此の種需要が如何に増大せるかは、獨逸放送會社の Herbert Antoine 博士が一九三〇年の世界動力會議に提出した數字に明らかである

同博士の示す所に依れば、當時に於て獨逸の放送事業は既に直接、間接に、一年間二五、〇〇〇、〇〇〇キロワットの電力即ち、一年に付き約三一、二五〇、〇〇〇マルクを使用してゐる。同氏は、結局此の四倍を費消するものと豫見してゐる

國際放送聯盟も亦同種の概測を一九三〇年中に（大さ順に列べると）和蘭、丁抹、濠洲、諾威、瑞典及び芬蘭から入手した

和蘭からの概測に依れば、和蘭の放送關係の事業は一八、五〇〇、〇〇〇キロワット時を、和蘭の聴取者は（普通の就床時間以外に餘分に使用する電燈は算入せ

す)約二〇、〇〇〇、〇〇〇キロワット時を費消してゐる事を示してゐる。併せて、五二、四〇〇、〇〇〇キロワット時が放送事業が新たに生れた爲に消費されてゐる事となる

丁抹からも同様に驚くべき報告に接してゐる。此處では、礦石式受信機所有の聴取者の方が多数であるが、それでも、一〇、九五〇、〇〇〇キロワット時が聴取用として使用されてゐる事を示してゐる。放送に依る一年間の總電力消費量は、二四、三四七、〇〇〇キロワット時即ち、丁抹に於ける一年間の電力總産出高の一分を示してゐる

濠洲聯邦報告の一九三〇年の概測に依れば、放送に依り消費された電力量は二二、〇〇〇、〇〇〇キロワット時であるが、此の概測は、國營放送事業に屬する放送機のみを含み(B)事業として知られてゐるものに屬してゐる數個の小放送機は含まれてゐない。右の總量中、一九、四三〇、〇〇〇キロワット時は、聴取者が受信機用として消費したものである

諸威に於ては、一九三〇年に於ける聴取者數約九四、〇〇〇人(内三割は礦石式受信機所有者であるが、)放送局及び聴取者の總電力消費量は四、七二一、〇〇〇キロワット時に上つてゐる

放送機と受信機のみを計上した瑞典に於ても、二、五乃至三、〇〇〇、〇〇〇キロワット時を擧げ、芬蘭に於ける消費量は、一、二一〇、〇〇〇キロワット時内八五〇、〇〇〇キロワット時は放送機用、三六〇、〇〇〇キロワット時は受信機用である。

一九三〇年度の以上の數字を合計し、これを今日の世界の聴取者總數と對比し、而してこれに依つて、放送の發展に基因する現時に於ける總電力消費量の概算を試みる事とする。即ち、

國別	摘要	放送の發展に基く電力の消費量	一九三〇年に於ける聴取者數
獨逸		一二五、〇〇〇、〇〇〇	三、二〇〇、〇〇〇
和蘭		五二、四〇〇、〇〇〇	四五〇、〇〇〇
丁抹		二四、三四七、〇〇〇	三六八、〇〇〇
奧地利		二一、〇〇〇、〇〇〇	三二九、四六五
奧地利		四、七二一、〇〇〇	九四、〇〇〇
諾威		二、七五〇、〇〇〇	四八二、三〇〇
瑞典		一、二一〇、〇〇〇	一〇六、五五九
芬蘭		二二一、四二八、〇〇〇	五、〇三〇、三二四
計		二二一、四二八、〇〇〇	

今日世界に於ける放送聴取用受信機施設を有する世帯數は(本小冊子に既に示せる通り)三四、五〇〇、〇〇〇を下らない

此の數字を基礎として見ると、一九三二年に於ける特に放送に依る電力消費量は

約一、五七三、二〇〇、〇〇〇キロワット時となるであらうが、これを平均一キロワット時二五仙

(瑞西)とすると、此の事業關係文に見ても三九三、三〇〇、〇〇〇瑞西法といふ決して無視出来ない額となる

最後に、放送の工業に及ぼせる影響の他の例としては、雜誌、圖書出版及び蓄音器の諸事業に與へた刺戟に言及すべきであらう

國際放送聯盟は合衆國に於て出版されてゐる無線關係定期刊行物の數に關しては何等の資料を持合はしてゐないが、獨逸に於ては、一九三〇年現在、無線關係専門新聞雜誌は約六五種に上り、其の一週間の總發行部數は二、五〇〇、〇〇〇を算してゐる。英國に於ては、雜誌種類としては獨逸より少ないが、或る種のものは莫大な發行部數を持つてゐる。週刊「ラヂオ、タイムス」は二〇仙（瑞西）の廉價で、其の發行部數は無慮二、五〇〇、〇〇〇部に上つてゐる。

日本では一機關雜誌に一二〇人を使用し、其の發行部數は一、二〇〇、〇〇〇を數へてゐる。

チエコスロヴァキアには、主だつたラヂオ雜誌が一〇種ある。英吉利及び佛蘭西では、放送プログラムは又盲人の爲に點字で出版されてゐる。

放送に關する雜誌出版事業の外に、放送される講演の梗概及び既に放送された講演を再録して出版する事

業が次第に盛大となつてゐる。例を英吉利に取れば、一九三〇年に於て英國放送協會は一、八四五、一二二部に達する斯るパンフレットを配布してゐる。

放送事業の發展と時を同じくして、蓄音器業が異常の進展を示してゐるのは、單なる偶然の一致ではない。蓄音器に、マイクロフォン、増幅器其の他放送用として進歩した諸種の敏感な電氣的裝置の技術を應用した結果、蓄音器録音の音質が著しく改良された許りでなく、蓄音器レコードの放送が、以上の蓄音器録音技術の進歩及び今日存在する多數の優秀なるレコードへ公衆の注意を惹くに與つて力があつたのである。

放送が他の音樂方面に與へた助力の具體的な好例は、既に一九二四年にこれを見るのであるが、其の後屢々而も一層大規模に繰返されてゐる事は疑ふ餘地がない。一九二三年英國放送會社は Savoy Orpheans として知られてゐたダンス、バンドを毎週二、三回放

送せしめる事とした。當時、大不利顛に於ける聽取許可證所有世帯數は百萬に滿たなかつたが一〇ヶ月以内

## 結 論

本小冊子に於ては、放送及び他の無線電氣諸事業の國家並に社會に對する相對的價値に就ては何等の比較考慮を試みなかつた。

企圖した所は「放送」の機能は如何なる限界を有し、如何なる分野を持つかを——今迄には試みられなかつた方法に依り——傳へんとするにあつたのである。尙放送が既に帯びてゐる重要性に就ても控目ながらこれを數量的に明らかにした。

に、此のバンド吹込レコード三百萬枚以上と此のバンドが流行させた數曲の樂譜百萬枚以上の賣行を見た

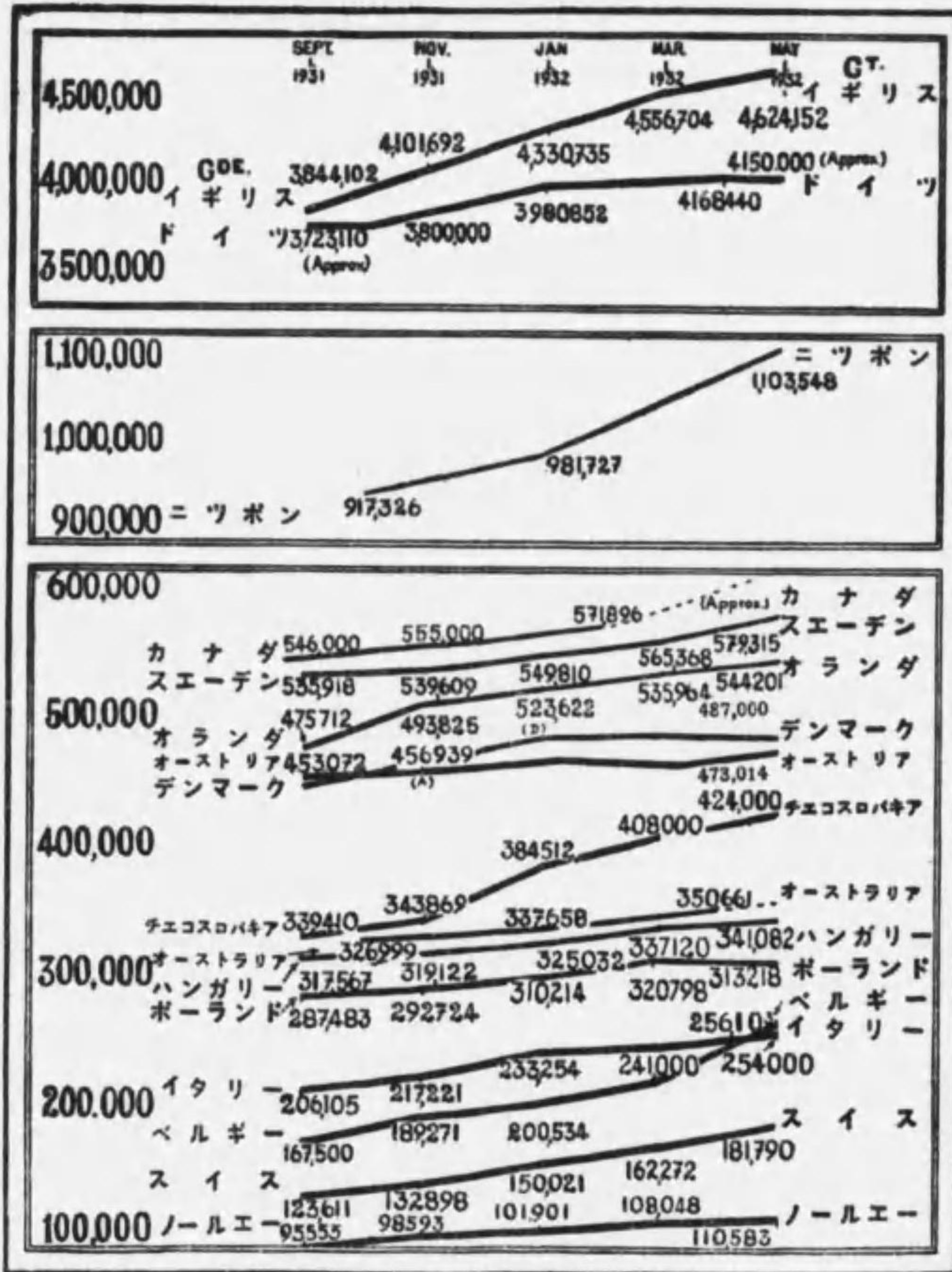
放送は民衆娛樂に加へられた單なる一新形式ではない。これは一の社會活動であつて、其の價値は責任の地位にある人々に依つて日増しに充分認識されて來てゐる。放送は諸國民の社會生活、放送の行はれてゐる諸國家の國庫及び此の危機に際して若し放送が阻止又は何等か妨害されるれば、非常な衰退を來すであらう所の多數の職業及び事業に重要な貢獻をしてゐる。

全世界の放送局の推定聽取者現在數一三八、〇〇〇、〇〇〇人は、年と共に益々増加するものと豫想される。

# 八ヶ月間に於ける放送の進歩

1931年9月1日—1932年5月1日

## 聴取者数激増状況



放送は創造力を發動せしめ、世界の文明諸國民の熱烈なる支持を得るに至つた一つの社會事業である。各種無線事業の特異性のみならず、其の相對的重要性をも考慮の上あらゆる便誼を計るべき責任の地位にある世界の當局者は、必ずや、豫見せられる放送のより以上の發展並に此の發展を助長すべき社會的の必要を充分斟酌善處せられるであらう事は、放送當事者の信じて疑はない所である

一般經濟界の不況並に危機に際し乍ら、聴取許可證制度を採用せる諸國に於ける聴取者に下附の許可證數は、昨秋、冬及び今春を通じて一様に上騰を示してゐる(第三表紙所載の略圖参照)。飽和點に到達したと思はれる何等の兆候をも見せないから、此の上昇の傾向は今夏を通じても繼續されるものと假定して差支ない

終

